

ロマンのまち



さかいで

おの  
いにしえ

市制施行75周年記念

坂出市勢要覧 2017



坂出市



坂出市

市制施行75周年記念

坂出市勢要覧 2017

【発行日】平成29年3月

【発行】坂出市総務部政策課

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号  
Tel.0877-44-5001 Fax.0877-46-4056

<http://www.city.sakaide.lg.jp>

- 3 新生坂出市の限りなき創造
- 5 歴史散策“古のロマンのまち さかいで”
- 9 自然・芸術ロマン探訪
- 13 坂出の特産品
- 15 生まれ変わる瀬戸内の要衝都市
- 17 進化する臨海工業地域
- 19 働きたい 住みたい 子育てしたい  
共働のまち さかいで
- 21 自立・信頼
- 23 安全・環境
- 25 安心・健康
- 27 教育・文化
- 29 快適・憩い
- 31 魅力・活気
- 33 議会・行政
- 35 さかいで歳時記カレンダー
- 37 坂出市DATA
- 39 坂出市のあゆみ
- 41 坂出イラストマップ
- 42 坂出市行政機構図

## ごあいさつ

坂出市長  
**綾 宏**



坂出市は、かつては「塩のまち」「塩の積み出し港」として栄え、戦後の高度経済成長時代には、塩田跡地を活用した港湾開発や番の州地区の埋め立て等により、全国有数の「港湾工業都市」へと変貌を遂げました。その後の瀬戸大橋開通や四国横断自動車道の整備などにより、現在では、本州と四国を結ぶ鉄道網および高速道路網の「要衝」として、その存在価値を高めています。

本市は、平成29年7月に市制施行75周年を迎え、さらに、平成30年4月には瀬戸大橋開通30周年という節目の年を迎えます。我が国全体が本格的な人口減少・少子高齢社会の到来を迎える中、先人が築き上げてきた歴史と伝統の礎を継承しながら、人口減少の克服と地域活力の向上に取り組みていかなければなりません。

そのためにも、本市の豊かな歴史や文化、陸海交通の要衝である地理的優位性、坂出三金時をはじめとする豊富な地場産品等、本市が有する素晴らしい地域資源を最大限に活用し、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、全力を傾注していく所存であります。

今後とも皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



### 位置・地勢

ここ坂出市は、香川県のほぼ中央部に位置し、東は高松市、西は丸亀市・宇多津町、南は綾川町、北は瀬戸内海を隔てて岡山県に対しています。

市の中心部は海岸沿いに平坦に開け、周囲は風光明媚な五色台、山城の史蹟が残る城山、讃岐富士と称される飯野山が座り、綾川を軸に田園地帯が広がっています。

海に出れば瀬戸大橋沿いに島々が連なり、瀬戸内海国立公園の美しい景観を見せる、海に山に自然豊かな土地柄です。

位置／東経133°51'38" 面積／92.49km<sup>2</sup>

北緯 34°18'59"

広さ／東西14.65km

南北18.20km

### Sakaide Data

※掲載の情報は、平成29年3月時点のデータです。

# 新生 坂出市の 限りなき創造

## 魅力を進化させる都市へ

坂出市の経済基盤を支える二大要素に臨海工業地域と交通の要衝があります。

昭和50年に完成した一番の州臨海工業地域はその後も発展を続け、今や四国を代表する国内有数の工業都市として全国にその名を知らしめました。また昭和63年に完成した瀬戸大橋の四国側の拠点であり、本州と四国を結ぶ高速道路網の表玄関としても注目され、産業が無尽に往來する活力溢れる都市となっています。

一方、自然も豊か。眼前には瀬戸大橋沿いにちりばめられた島々の瀬戸内海国立公園ならではの景観と、四季を飽きさせない五色台。讃岐富士とも呼ばれる平野の守護神飯野山などがあり、海と山の自然豊かな土地柄でもあります。

さらに、坂出市には歴史上の多くの偉人との縁による由緒ある文化遺産も随所にあり、古のペールに包まれた史観も大きな魅惑と言えます。

産業、文化、自然、歴史……。『坂出』は魅力がどんどん進化する都市へ再生を続けます。

## 古のロマンのまち さかいで



城山、沙弥島、五色台。尽きることのない坂出の歴史をさらに掘り起こし、文化遺産を検証し継承する『古のロマンのまち』づくりを展開。地域に住むことの誇りを持ち続けられるロマンの香り高い都市にします。

## 自然と芸術がマッチするロマン探訪

誰もが感動する瀬戸内海の島々の眺望。誰もが憧れる島の織りなすアート。その背景に心を和ませる香川県立東山魁夷せとうち美術館などがあり、芸術文化を高めることに力を注いでいます。



## 瀬戸内の要衝として発展をつづける坂出

四国と本州を結ぶ瀬戸大橋と連結した四国横断自動車道やJRの鉄道網が整備され、人と物との流通拠点として注目される坂出市。その未来性を秘めた発展は測り知れない魅力であり、市民生活を支える基盤でもあります。



## 今を、未来を支える臨海工業都市

全国でも有数の一番の州臨海工業地域は今日も休みなくパワフルに稼働。瀬戸内工業圏の中核都市として自他ともに認める重要な位置づけにあり、同時に海上輸送の要衝としての力も大いに発揮しています。



## 「さかいで」逸品ブランド



坂出には坂出ならではの産物の力があります。それらの逸品を厳選した「さかいでブランド」の誕生です。サヌカイトによる工芸品から、農産物、食品などの産物化を広く推し進めています。



『古(いにしえ)のロマンのまち さかいで』  
ロゴマーク  
文化・芸術・歴史など各分野間の連携を図り、  
まちの付加価値と魅力を高め、坂出市の  
さらなる魅力をアピールいたします。

# 歴史散策

## 古のロマンのまち さかいで

Historical Romantic Town

### 『瀬戸大橋のまち』から『古のロマンのまち』へ

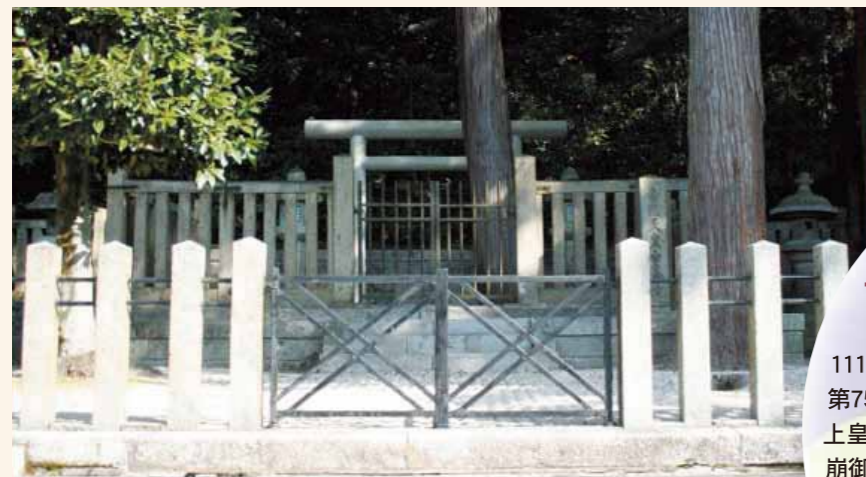
番の州臨海工業地域、瀬戸大橋の架橋で変貌を重ねながらこれまで発展してきた坂出市ですが、その基盤に先人が培ってきた歴史があることを忘れてはなりません。その歴史がもたらす文化を掘り起こし継承するため、新たに『古のロマンのまち』づくりを進めています。

坂出市一帯には優れた文化遺産が点在し、歴史上の多くの偉人にも縁があります。この背景こそこの地の魅力であることを再認識し、これからも人々が訪れやすいまちづくりに力を注いでいます。

### 崇徳上皇

(すとしょうこう)

1119年～1164年  
第75代天皇。5歳で即位し、23歳で近衛天皇に譲位、上皇となる。崇徳上皇の先代天皇である鳥羽法皇の崩御後、保元の乱を起こすも後白河天皇側に敗れ、讃岐へ配流となる。讃岐で8年間をすごし、46歳で崩御。白峰山で荼毘に付され、御陵が営まれる。1868年明治天皇は自らの即位に際し、勅使を讃岐に使用し、崇徳上皇の御霊を京都に帰還させて白峯神宮を創建した。



#### ●白峯御陵

長寛2年(1164年)8月26日、46歳で崩御された崇徳上皇は、遺骸を八十場の泉に浸された後、白峰の稚児ヶ嶽にて荼毘に付されました。そして同地に四国で唯一の御陵が築かれました。

五色台連峰の西側を占めている白峰山は、保元の乱に敗れ、讃岐の地に配流された崇徳上皇が悲運の生涯を閉じ、荼毘に付されたところで今もなお、上皇ゆかりの史跡や逸話が数多く残されています。

白峯寺は白峰山の山頂にある真言宗の寺で、四国八十八ヶ所霊場第81番札所。綾松山洞林院と号し、弘仁6年(815年)弘法大師空海が、白峰山中に如意宝珠を埋め、衆生済度を誓願してこれが開基とされています。

#### 白峯寺



#### ●十三重塔

鎌倉後、末期建立の十三重の石塔で、西塔は「元亨4年(1324年)、金剛佛子」の銘があり、東塔は弘安元年(1278年)の建立です。西塔は板石を組み合わせた基壇で、基壇から七重までの内部を空洞とし、塔身の種子も不動三尊を刻んだ珍しいものです。



#### ●頓証寺殿

肇記は、上皇の崩御後、白峯寺の院主が鼓岡の御所を白峯寺の境内に移し、弔ったことに始まります。御殿は建久2年(1191年)に後白河法皇によって正式に御佛堂としてのご裁下を賜り、820年余の歴史を持っています。現在の御殿は延宝8年(1680年)に高松初代藩主松平頼重公ならびに第二代藩主頼常公が大願主となり再建されたものです。

### 白峰山の天狗伝説

坂出市から高松市へと讃岐の北辺を東西に連ねる五色台は、霊場として早くから開かれた連山です。多くの修験道行者(山伏)や、これら行者の統括者(首領)が入山していたと考えられています。

白峰山の相模坊は、かつて相模国(神奈川県)の大山に止住した大行者で、いつの時代にか讃岐の白峰山

#### 大天狗相模坊

に移り、天狗の首領として君臨したと伝えられています。

崇徳上皇との深い関わりのお話も残されており、上皇崩御のち白峰に陵墓が営まれ、行者集団を統括しながら、聖地白峯御陵の祭祀に奉仕していたといわれています。



#### ●西行法師石像

保元物語によると、仁安3年(1168年)白峯御陵に詣でた西行は、陵前に座ってお経を繰り返し読み、「よしや君昔の玉の床とてもかからん後は何にかはせん」の歌を奉ったといわれています。

### 西行法師

(さいぎょうほうし)

1118年～1190年  
平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての歌人。鳥羽院の北面武士として奉仕していたが、23歳で出家して円位を名乗り、のちに西行とも称した。出家後は心のおもむくまま諸所に草庵をいとなみ、漂泊の旅に出て諸国をめぐり、多くの和歌を残した。崇徳上皇の白峯御陵を訪ねてその御霊を慰めたほか、県内の普通寺でもしばらく庵を結んだと伝えられる。



#### ●白峯寺本堂

# 人間愛の尊さにあふれた聖地 沙弥島（しゃみじま）

沙弥島には、島のあちこちに、旧石器・縄文・弥生時代の遺跡や古墳、文学碑が数多く散在しています。なかでも万葉の歌人柿本人麻呂ゆかりの歌碑や、讃岐の五大師の一人「理源大師」に因んだ旧跡などはよく知られており、これを目的として島を訪れる歴史・文学愛好者たちも多くなります。瀬戸内の四季の風光を満喫しながら、ゆつたりと

この万葉の島ならではの歴史文学散歩を楽しむことができます。島の最北端に突き出した長崎鼻の南にある「柿本人麻呂」は、人麻呂が、この島に船を着けて「石中死人を視て」作歌し、その心を敬慕した作家中河与一氏が、昭和11年に建立した記念碑です。また、この石碑

に隣接した海岸線には「人麻呂石」があり、人麻呂が沙弥に漂着して視た『石中の死者』は、この岩の付近に流れ着いていと伝えられています。



●理源大師堂

島の南西にある「西の浜」の横に、「理源大師堂」があり、その横の堂には、大師の像もあります。小ぶりながら人柄が伺える姿を見ることができます。

## 理源大師

(りげんたいし)

832年～909年

法名を聖宝(しょうぼう)といい、平安時代前期の真言宗の僧。空海の実弟真雅の弟子。宇多天皇の厚い帰依を受けて東寺長者、僧正などの重職を歴任し、醍醐寺(上醍醐)を開創したと伝えられる。讃岐五大師の一人として尊崇されている。父・葛声王(かどなお)が塩飽諸島に流された際、母・綾子姫は懐妊しており、沙弥島にて大師を出産したといわれている。

## ●ナカダ浜

沙弥島の北東面にあるナカダ浜は、史跡の浜ともいえる小じんまりとした海岸です。ナカダ浜では、縄文式土器、サヌカイト製石器が出土しており、製塩に使用されたと考えられる古墳時代前～後期(4～7世紀)の師楽式製塩土器も出土しています。

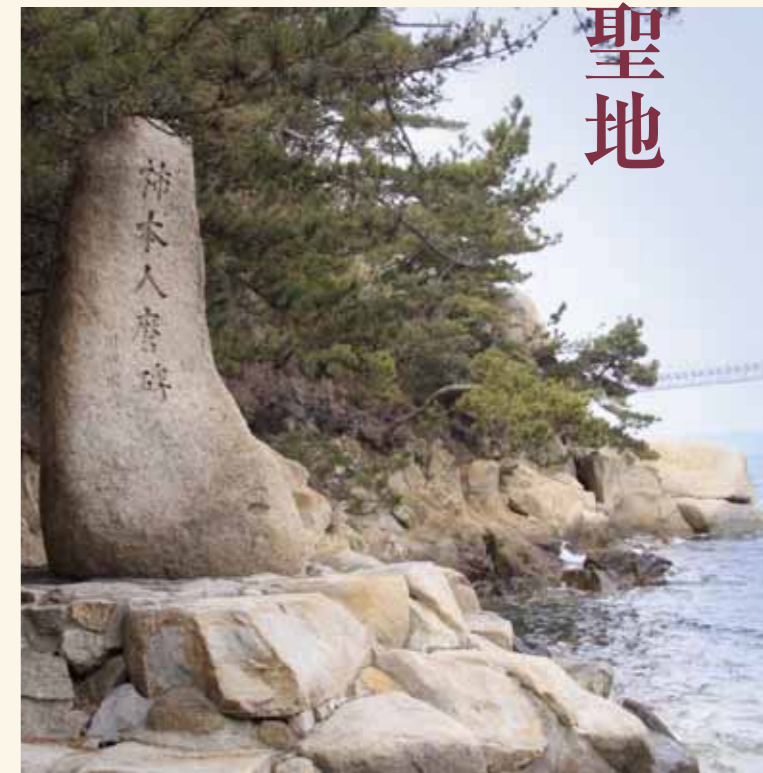


## 柿本人麻呂

(かきのもとひとまる)

660年頃～720年頃

飛鳥時代の歌人。山部赤人とともに歌聖と呼ばれ、称えられている。また、三十六歌仙の一人。格調高い歌風で枕詞、序詞、押韻などを駆使する一方、長歌では複雑で多様な対句を用い、長歌の完成者とまで呼ばれるほどであった。「万葉集」第一の歌人といわれ、長歌19首、短歌75首が掲載されている。沙弥島で死人を嘆く長歌を残した。



●柿本人麻呂碑

## 久米通賢

(くめつうけん)

1780年～1841年

讃岐国大内郡馬宿(現在の東かがわ市)の農家に生まれる。文化3年(1806年)高松藩の測量方に採用され、測量地図の作成や測量機器、時計、鉄砲製作などを行う。藩主松平頼恕に塩田開発を進言し採用され、文政9年(1826年)普請奉行に任じられる。私財を投げ打って東大浜、西大浜に入浜式塩田を完成させ、藩の財政を立て直すとともに坂出の発展の礎を築きました。

## 塩業からはじまった発展

瀬戸内地方では、古くから塩づくりが盛んでした。香川県沿岸各地の遺跡からは弥生・古墳時代の製塩土器が出土するなど、塩づくりの跡をたくさん見ることができます。そして、奈良時代から江戸時代へと時代が移り変わっていく中で、製塩方法も随分と進歩し、やがて、一人の天才があらわれ、通賢です。その人の名は、久米通賢です。

久米通賢は、安永9年(1780年)、現在の東かがわ市で生まれ、27歳で高松藩の測量方となりました。坂出の海岸が塩づくりに適していると考えた通賢は、文政7年(1824年)に塩田と田畑の開墾を計画、文政9年に着手し、3年半の歳月と多くの人手により、現在の坂出市街北部に広大な「入り浜式塩田」を完成させたのです。この塩田は技術的にも優れていたため、「久米式塩田」と呼ばれ、その後の塩田開発のモデルとなりました。当時の藩主松平頼恕はその通賢の業績をたたえて、その当時の旧地と墾田地の境に位置した天満社境内(現・坂出商工会館裏)に石碑を建て、讃岐の塩づくりの歴史を永く後世に伝えました。

## 菅原道真

(すかむらのみちざね)

845年～903年

平安時代の貴族、学者、漢詩人、政治家。仁和年間に讃岐守として遷任(886年～890年)漢詩「菅家文章」に坂出の庶民の日常を詠む。宇多天皇に重用され、醍醐天皇の治世に右大臣にまで昇進するが、左大臣藤原時平に讒訴され、大宰府へ権帥として左遷され、現地で没した。天満天神として信仰の対象となり、現在は学問の神様として親しまれている。

## ●讃岐国府跡

坂出市にはかつて讃岐国の国府(国庁)があったとされています。讃岐国司として任命されこの地を訪れた貴族の中に、学問の神様として知られる菅原道真がいます。



●久米通賢翁の銅像  
坂出市、塩神社内



●阪出墾田之碑

文政12年(1829年)久米通賢によって完成した当時の坂出塩田。この大事業の業績をたたえ、高松藩主松平頼恕公が旧地と墾田地の境である天満社境内に石碑を建立し、現在は覆い屋で保護されています。



## ●城山神社

仁和4年(888年)5月、菅原道真公は城山の神に祈雨の祈願をしました。境内には、道真公を祀る『雨請天満宮』もあります。雨請天満宮は、鼓岡の東にありましたが、江戸時代に城山神社の傍に移されました。

優美な多島美を誇る瀬戸内海と白く大きな「瀬戸大橋」とのコントラスト。伸びやかな平野と鮮やかな連峰が織りなす魅惑の景観をご覧ください。



# 自然・芸術 ロマン探訪

## 絶景に酔う、瀬戸内の多島美



櫃石島

王子神社の境内で催される「ももて祭」は、弓射により、その年の豊凶を占うもので、香川県の無形民俗文化財に指定されています。



岩黒島

島名は、島の南半分は白っぽい花崗岩であるのに対し、北半分は黒っぽい閃緑岩（せんりょくがん）でできていることに由来すると言われています。



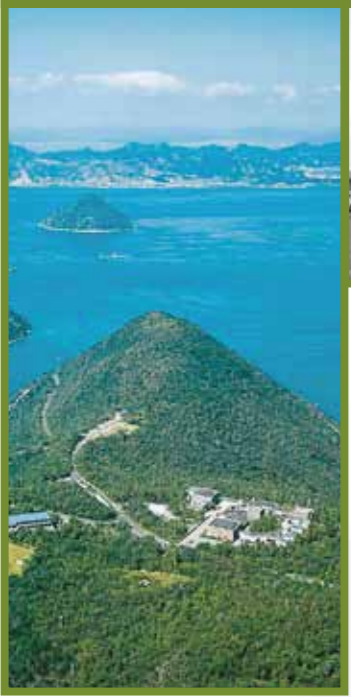
小与島

香川県の天然記念物に指定されている「小与島のササユリ」が群生しています。



与島

与島に隣接する鍋島には、明治5年にイギリス人技術者ヘンリー・ブラントン設計による灯台が設置されており、経済産業省により「近代化産業遺産」として認定されています。



豊かに広がる瀬戸内海を一望  
五色台  
坂出と高松にまたがる五色台は、海岸線から順に紅峰、黄ノ峰、黒峰、青峰、白峰、五つの連峰からなる溶岩台地。南北に走るスカイラインを通して瀬戸大橋を一望できる景観スポットであり、野鳥観察のメッカでもあり、その大自然は広く県民に愛されています。  
「休暇村讃岐五色台」など宿泊施設も整い、自然とともに「遊べる」レジャーランドとして、また、海の歴史や民俗資料を集めた「瀬戸内海歴史民俗資料館」などは「学べる」野外学習の場として親しまれています。

## 四季折々の姿に見るロマンと美



### 海浜のメモリアル・パーク 瀬戸大橋記念公園

瀬戸大橋架橋を記念して造られた広々とした公園で道の駅にも指定されています。広大な敷地には、「くぐり滝」「鬼屏風」「遍路ギャラリー」などのミニチュメントが配置され、橋のたもととの広々とした公園として親しまれています。  
また、「瀬戸大橋記念館」には瀬戸大橋に関する資料展示や大迫力のブリッジシアターが備えられ、ウォーターフロントの風光を満喫できる憩いとふれあいのスポットです。

### のどかに広がる平野にぽっかり 飯野山



「讃岐富士」と呼ばれる飯野山は、平野部にぽっかりと佇まいを見せる円錐形の孤峰。裾野を優雅に広げた容姿は、山そのものが御神体を思わせ、巨石に神が降臨するという磐座（いわくら）信仰の場となっています。  
山頂へは三つの登山道があり、山を一周しながら讃岐平野や瀬戸内海の眺めを楽しむことができます。





# 改めて見る、 思いがけない美しさ

## 常盤公園

聖通寺山山頂二帯に広がる常盤公園。海の銀座・塩飽諸島を眼前に、岡山県へと一直線に延びる瀬戸大橋をも一望できるロケーションはここならではのものです。

公園の南の茶臼山には、全長約80m、高さ約6mの中讃地域最大級の前方後円

墳や、山頂にある特異な形をした積石塚など、この一帯の古代史に触れることができます。中腹には指二本触れるだけでグラツと動く怪石「ゆるぎ岩」があります。

さらに、春にはソメイヨシノ500本がトンネル状に咲き乱れ、県内でも桜の名所として知られております。



南嶽には、讃岐を初めて統一支配した仙石秀久の居城である聖通寺山城跡や山麓には聖宝(理源大師)の学問所といわれる聖通寺があり、数々の文化財を残しています。



坂出市カヌー研修センター



## 府中湖

雨が少なく大きな河川のない坂出は昔から水不足に悩まされてきました。その水不足を癒してくれるのが府中湖。讃岐山脈を水源に、この府中湖から坂出市林田町まで流れている綾川は県下最長の川で、延長38.213km、流域面積は130.3km<sup>2</sup>です。

綾川流域は景勝地も多く、奇岩奇勝に飾られる渓谷を流れる清流に四季折々の美しい風情が望めます。ここ府中湖も『新さぬき百景』に選ばれた景勝地の一つです。また、平成5年の東四国国体ではカヌー会場となつて一躍その名を知られ、その後全国規模のカヌー競技が行われています。



## 城山

城山は地名からもわかるとおり古代山城の遺跡があり、早くから国の史跡に指定されています。また、一方で城山の城跡は城山長者の伝説と結びついていて、坂出の昔話として語り伝えられています。

## パブリックアート

坂出市には、美術館やギャラリー以外にも、広場や道路、公園などの公共空間に芸術作品が点在しており、設置されている環境や周囲の自然との絶妙な融合で、空間の魅力をさらに高めてくれています。

音、風、光なども取込んだ象徴的なアートたちが、あなたとの出会いを待っています。詳しくは、坂出市観光協会公式ホームページをご覧ください。

## 愛恋無限の碑

沙弥島には、坂出市出身である中河与二氏の『愛恋無限』の文学碑があります。昭和10年に、朝日新聞で

連載された不朽の名作で、愛と無限の美を称えたものです。その小説の最終章の中で、沙弥島の自然が描かれています。



## 香川県立東山魁夷せとうち美術館

# 美と文学への、感動新た



東山魁夷画伯の祖父が坂出市櫃石島の出身である縁から、櫃石島を望む沙弥地区に平成17年に開館したのがこの美術館です。東山魁夷画伯提案のライトグレー色の瀬戸大橋が眼前に広がり、万葉のロマン漂う歴史の遺産や瀬戸内海の美しい自然に囲まれ、心の癒しや憩いの場となる美術館として賑わいを見せています。

画伯や画伯ゆかりの日本画家の作品を紹介するなど、様々な展示会を積極的に開催しています。



## サヌカイト



坂出の山々からは、叩くと心地よい音を発する珍しい石「サヌカイト」が産出されます。雑貨や楽器に加工され、その音色は生活の中にも溶け込んでいます。

## 三金時

(にんじん・いも・みかん)



全国にその名が知られている「金時にんじん」「金時いも」「金時みかん」の金時シリーズ。金時とは「赤いもの」という意味で、三品とも赤みが濃いのが特徴です。塩田が広がっていた場所に作られた畑は砂地でミネラル分が多く、その特徴を活かして栽培されたのが「金時にんじん」と「金時いも」です。坂出市は「金時にんじん」の世界一の生産地で、この地から3つ目の金時である「金時みかん」が生まれました。

## 塩・醤油



市内の沿岸部にはかつて広大な塩田が広がり、全国有数の塩の生産地でした。その歴史は現在にも受け継がれ、塩や塩を原料とする醤油の製造が盛んに行われています。



有名な「さぬきうどん」も坂出の塩と醤油が支えています。

瀬戸内の豊かな自然と温暖な気候、そして生産者たちの情熱が生んだ「地域の誇り」です。

# 坂出の特産品

## オリーブ



1粒ずつ手で収穫するため選りすぐりのものだけを摘み取ることができます。酸化が少なく、高品質な逸品です。

## ブロッコリー・レタス



早朝から収穫・氷詰め出荷などのこだわりによって、坂出産ブロッコリーは全国トップクラスの品質を誇ります。また、レタスも真空予冷（真空状態で急速に冷やすこと）により、高品質のまま消費者に届けられます。

## 瀬戸内あわび



平成25年に養殖を開始した新たな特産品です。坂出で養殖したワカメや昆布を餌に与え、大切に育てています。



### 大阪府 泉佐野市と特産品協定を結びました

平成28年12月3日、大阪府泉佐野市と「特産品相互取扱協定」を締結しました。今後、共同で両市の特産品の宣伝や販路拡大に努めていきます。



特産品を加工！

さかいでブランド



検索

坂出の特産品を加工して商品化したものや、坂出の事業者が丹精込めて作ったこだわりの逸品を「さかいでブランド」として認定しています。全59品（平成29年2月1日現在）







# そして、今生まれ変わる

## 瀬戸内の要衝都市



瀬戸内海に架かる巨大な「瀬戸大橋」は坂出の顔でもあります。どっしりと聳え立つその姿は本州と四国を結ぶ大動脈として、香川県の経済成長を押し上げる役割を担ってきました。平成30年に30周年を迎える瀬戸大橋は、今後も人・地域・産業の繋がりを軸にあらゆる可能性の橋渡しを続けていきます。

### 「流通の要衝としての確固たる位置付け」

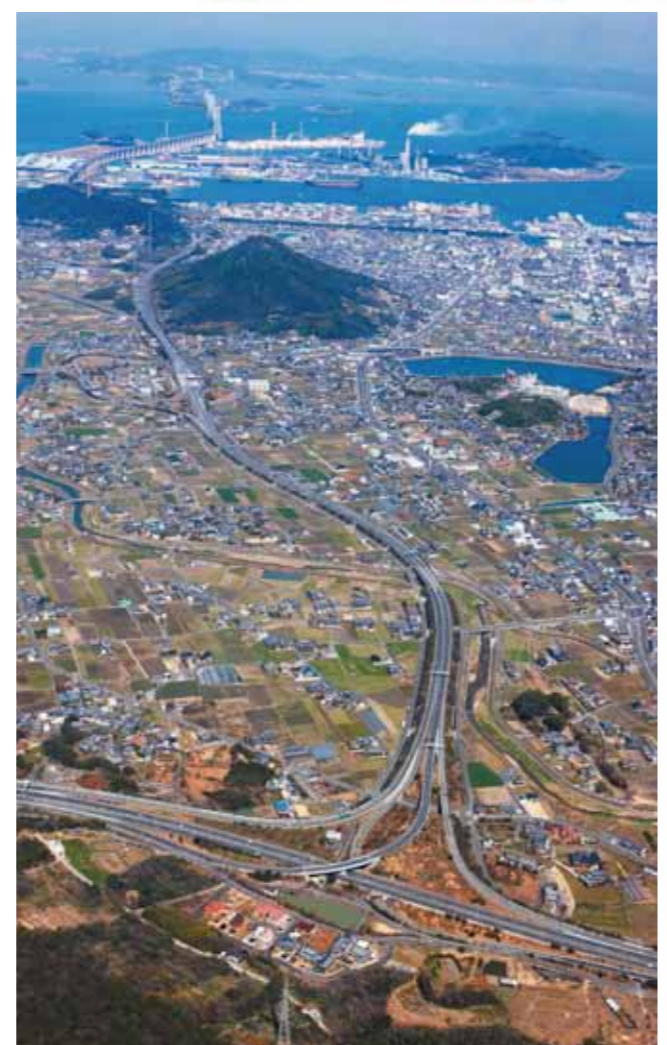
平成4年に瀬戸大橋と四国横断道が連結されて以降、四国横断・縦貫自動車道の延長連結が図られるなど、高速道路網の着実

### 「期待される広域交通の結節点」

坂出市の中心となるのはJR坂出駅。本州から瀬戸大橋を渡って四国に入る最初の停車駅です。快速電車でJR高松駅からは15分、対岸のJR岡山駅からでも40分という位置にあり、県内屈指の利便性の高さを誇っています。平成8年に着手した「坂出駅周辺整備主要プロジェクト」は、「市民と行政が力を合わせながら、来るべき21世紀にふさわしいまちづくりを進める」というコ



多目的広場や地下駐車場が整備されたJR坂出駅北口。駅周辺を中心とした道路も効率的な活用を基本に安全で魅力ある坂出の玄関口です。

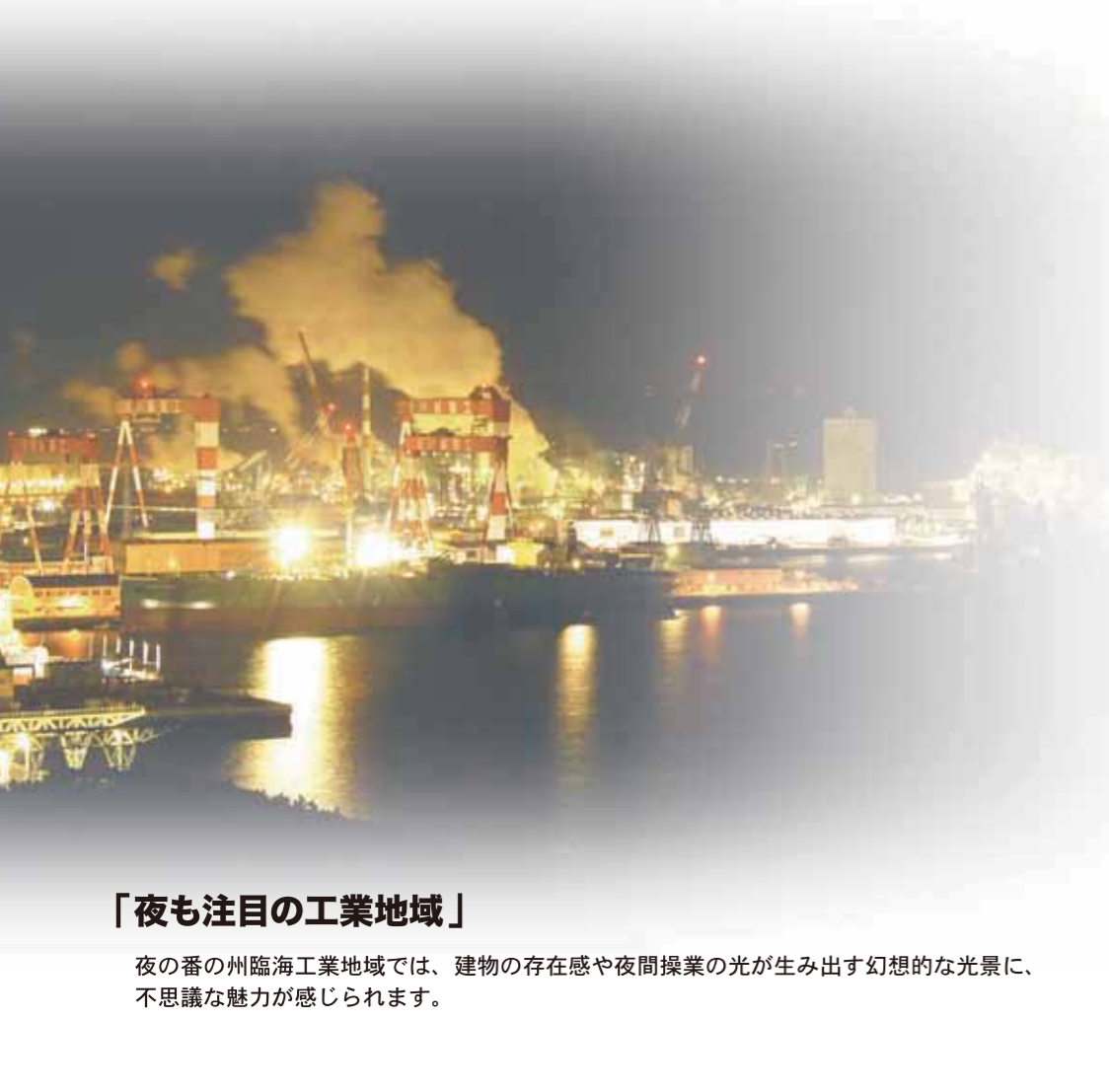


な進展に伴い、坂出市は瀬戸内圏域における交流の要としての位置を確保しています。

また、重点港湾に選定されている坂出港や番の州臨海工業地域に隣接する坂出北インターチェンジがフルインター化されれば、さらに流通拠点としての機能が充実されるなど、今後大きな可能性に溢れています。

物流の手段だけでなく、文化や人々が縦横に行き交う、活気に満ちた都市づくりをめざして、日々、整備・管理に努めています。

# 坂出を変えた 進化する臨海工業地域



## 「夜も注目の工業地域」

夜の番の州臨海工業地域では、建物の存在感や夜間操業の光が生み出す幻想的な光景に、不思議な魅力が感じられます。



## 「誇れる臨海工業地域の発展」

かつて臨海部に広がっていた塩田跡地の土地区画整理事業や沖合いの埋立などにより、番の州臨海工業地域や林田・阿河浜地区臨海工業地域などの工業用地が整備されました。これらの工業地域では工業用水や大口電力など各種の豊富なエネルギーの利用が可能であり、坂出市は、この臨海工業地域によって瀬戸内工業圏の一翼を担うとともに香川県における重工業の中核都市として重要な位置を占め、

経済・産業活動の源となっています。



瀬戸内圏を代表する番の州臨海工業地域。昭和39年(1964年)から同50年(1975年)にかけて坂出港と沖合の瀬居島・沙弥島を結んで造成し、工業団地として企業誘致を図ったもので、以来香川県の重工業の中核地として産業活動に寄与しています。

## 「陸とともに海から産業を支える」

香川県のほぼ中央に位置する坂出港は、江戸時代から塩の積出港として栄えました。昭和初期には岸壁も整備され近代的な商港として繁栄し、昭和26年に早くも重要港湾に指定されました。

その後、番の州埋立てに伴う大規模臨海工場の誘致、塩田跡地を活用した港湾開発などで香川県の工業と坂出市の発展に大きく貢献し、現在四国北東部の流通拠点として重要な役割を果たしています。

また、平成22年度には、国が指定する重点港湾にも選定され、ますます期待を担う港になったのです。瀬戸大橋開通や高速道路網の発達によって物流需要が増え、それに伴う地域の産業活動などへの支援としての物流の効率化を図るため、機能の充実と強化に向けて坂出港は進化を続けています。

# 働きたい 住みたい 子育て したい 共働のまち さかいで

● ● ● ● ● ● 坂出市のまちづくり

坂出市民であることを誇りにできる素敵なまちづくり、その前提は、市民一人ひとりが「ふるさとさかいで」を再発見・再発掘・再認識し、愛することに尽きるでしょう。そして、市民・民間事業者・行政が相互に連携し、支え合い、まさに「市民共働」で「働きたい 住みたい 子育てしたい」と心から思えるまちをめざしましょう。



● 出前ミーティング



● コンシェルジュサービス



すべての人がいきいきと  
輝くまちづくり

### 誰もが市政に参加しやすい環境づくりへ



● 目安箱



● 坂出市ホームページ



● 男女共同参画計画



● 男女共同参画委員会



● 市役所の中庭パブリックスペース

わかりやすく開かれた行政の実現と、市民の声を反映させた市民共働のまちづくりを推進するとともに、自主的な市民活動の支援に努めます。

#### 市民参加によるまちづくり

市民のさまざまな自主的活動を支援し、地域における連帯感の醸成に努めるなど、市民と行政のパートナーシップの確立を図るとともに、市民、民間事業者、行政等、それぞれが持つ能力を最大限発揮できるよう、さらなる市民共働を推進し、「すべての人がいきいきと輝くまちづくり」をめざします。

男女がともに認め合い、輝き、ともに創るまちを基本理念に、男性も女性も互いに人権を尊重し、すべての人が性別役割分担意識にとらわれないこと、地域社会の課題解決や子育て、介護などに責任を負い、

#### 男女共同参画社会の形成

多様化する行政課題に迅速かつ的確に対応するため、事務事業や組織機構の見直しを図るとともに、職員の資質向上を図り、良質な行政サービスの提供に努めます。

#### 行財政運営の効率化と健全財政の確保

個性や能力を十分に発揮できる社会づくりをめざし、男女共同参画社会の形成に努めます。



● 急傾斜地崩壊防止対策



● コンビナート火災訓練



● 水防救出訓練

安全で環境に優しく  
持続可能なまちづくり

## 住民の安全確保を第一に、防災・防犯の優れたまちに



● 防犯訓練

「自助」「共助」「公助」の連携のもと、災害の発生を未然に防止する対策や、被害を最小限にする減災対策の強化に取り組みます。

### 防災体制の強化・充実

坂出市は、災害や事故、犯罪などで市民の生命や財産が脅かされることのないよう、警察・消防などの関係機関との密なる連携と協働体制の充実・強化に取り組んでいます。また、防災・防犯に対する地域コミュニティの重要性をより一層認識し、その支援と育成に力を注ぎ「安全で環境に優しく持続可能なまちづくり」を進めています。



● 坂出消防署 システム指令室

「自助」「共助」「公助」の連携のもと、災害の発生を未然に防止する対策や、被害を最小限にする減災対策の強化に取り組みます。

### 交通安全の推進

市民一人ひとりの交通安全意識を高めるとともに、子どもや高齢者、障がい者に配慮した総合的な交通安全対策を推進します。

### 環境保全と環境衛生の充実

豊かな本市の自然を保全するとともに、ごみの減量化・資源化を促進し、持続的発展が可能な循環型社会の形成に努めます。

### ここを知って! 聞いて!

『災害が発生していない』  
今だからこそ備えましょう。

今後発生すると危惧されている大規模災害は、私たち行政の活動である「公助」以上に、みなさん一人ひとりが自発的に行う「自助」や、自主防災組織や地域の各防災組織が連携して行う「共助」なくしては、対応することは困難です。では、何をすれば良いのか? 災害が発

坂出市消防本部 予防課  
俵上 透さん

生した時のことを考えてみてください。家で、外出先で、一人で居る時、家族で居る時など。まず、一人ひとり何ができるのかを「考える」ことが防災の第一歩です。



● リサイクルプラザ



● 女性分団結成式

● さかいで子育て支援センター(まるっ子ひろば)



● 坂出市立病院



健康で安心して暮らせる  
まちづくり

## 一人ひとりに行き届く医療・福祉の充実を



● はつらつ教室

健康についての知識の普及・啓発や情報提供の推進、地域における健康づくりの中心となる人材の養成や確保など、地域健康づくり体制の

### 保健・医療の推進

子ども・子育て支援の充実に努め、子どもの健やかな育ちと子育てを支える環境づくりを推進するとともに、地域包括ケアシステムの実現に向けた取組など、保健・医療・介護・福祉が一体となった体制の整備と充実に努めます。また、市民一人ひとりの人権が尊重され、生涯にわたりにいきいきと暮らすことができる地域社会の形成に努め、「健康で安心して暮らせるまちづくり」をめざします。



● 人権啓発キャンペーン

子どもたち一人ひとりの個性を生かした子育てや、親が子どもを生み育てることに喜びを感じ

### 児童福祉・子育て世代への支援の充実

生涯いきいきと暮らせるよう、生きがいづくり、ふれあいの場づくりなど、地域で支え合う高齢者福祉のまちづくりを推進するとともに、医療・介護・生活支援・介護予防・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築します。

### 介護・高齢者福祉の充実

充実に努めるとともに、市立病院の充実、急病・傷病に対する救急医療体制の強化など、市民が安心できる医療体制づくりに努めます。



● 保育所の園児

人権教育・啓発の総合的かつ効果的な推進に努めます。

### 人権尊重社会の構築

「坂出市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、市民一人ひとりが人権尊重の理念について正しく理解できるように、人権教育・啓発の総合的かつ効果的な推進に努めます。

### 障がい者福祉の充実

障がいのある方の自己決定を尊重し、適切な意思決定を行えるよう支援するとともに、障がいのある方の自立と社会参加の促進を図ります。



● サウサリート市への派遣留学



● 府中湖カヌー競技場



未来を拓く力をはぐくむ  
まちづくり



● 坂出市立坂出小学校

幼年期・  
学校教育の充実

すべての子どもたちに、  
生きる力をはぐくむと  
もに、ふるさと坂出で生ま  
れ育ったことに誇りを持  
ち、夢の実現に真正面から  
立ち向かうことのできる

**幼年期・  
学校教育の充実**

信頼される学校教育の  
実現を図るとともに、すべ  
ての市民が、学び、共働し、  
地域社会の絆を深め、未来  
を創造するといった学びの  
姿勢が子どもたちの手本  
となり、家庭や地域社会  
を支え、発展させるという  
学びが循環する社会を通  
して、「未来を拓く力をは  
ぐくむまちづくり」をめざ  
します。



● 市民体育祭

文化の継承と創造

既存の文化施設を活用  
しながら、豊かな文化芸術  
環境の充実と特色ある文  
化芸術の振興に努めると  
ともに、地域の文化振興の  
資源となる歴史遺産や文  
化財の保存と活用を努め  
ます。

**文化の継承と創造**

生涯学習・  
スポーツの推進

いつでも、どこでも、だれ  
でもが、学習活動や文化活  
動に親しめる社会の実現  
をめざすとともに、スポー  
ツに親しめる機会の確保  
と環境の整備を行います。

**生涯学習・  
スポーツの推進**

チャレンジ精神に富んだ人  
づくりをめざします。



ここを知って! 聞いて!

子ども、それは  
未来に向かう人たち。

「みんな違ってみんないい...」子育て  
では、子どもにたっぷりと愛情を注ぎ、  
一人ひとりの特性をしっかりとらえ  
ながら育てていくことが大切です。

幼年期に「生きる力」の基礎が培われ  
るといいます。その大切な時期に人  
のかかわりや豊かな体験をいかにもた

坂出市教育委員会 学校教育課 指導主事

浦野 清美さん

せるかが問われています。

そこで坂出市では平成24年度より、5  
歳児健診の実施など子ども発達支援事業  
を進めていきます。お子様の健やかな成  
長を促すとともに、ご家族が  
安心して子育てしていただける  
よう、支援していきます。



国際交流の推進

姉妹都市サウサリート  
市等との交流を推進する  
とともに、市民参加による  
国際交流事業を通じて、  
地域の国際化および多文  
化共生社会の実現に向け  
た取組を推進します。

● 坂出駅北口



● 坂出市街地



## 都市・交通・住環境をネットワークで整備



● 西大浜公園

市民生活の利便性向上のため、生活道路網や本市の拠点性を高める幹線道路ネットワークの整備を推進するとともに、安全で環境面に配慮した上下水道の計画的な整備に努めます。

### 都市基盤の整備

快適な都市環境とは市民の生活環境そのものであり、時代にあった変化が求められます。自然環境を保ちながら快適な都市基盤を整え、穏やかな都市空間の創出や適正な維持管理に努めるとともに、コンパクトに集積した都市機能をさらに高め、「快適な都市環境を実感できるまちづくり」をめざします。



● 循環バス



● デマンド型乗合タクシー

飛躍的に発展する情報通信技術の確実に対応しながら、さまざまな分野における情報通信技術の有効活用を図るとともに、個人情報保護や情報セキュリティ対策の強化を図ります。

### 情報化の推進

市民が利用しやすい地域公共交通によるネットワークを形成するとともに、環境と調和した、風格と個性のある美しい都市景観の形成を推進します。

### 都市環境の整備



● 東大浜緑地



ここを知って! 聞いて!

高齢者や子ども移動に不自由しない、安心して住める理想社会に。

坂出市では、平成22年度に策定した坂出市地域公共交通連携計画に基づき、坂出駅を中心として市街地の総合病院や公共施設等を回る循環バスや、路線バスの通っていない郊外と市街地とを結ぶデマンド型乗合タクシーを導入し、マイカーがなくても安心して生活できる環境整備を行っています。

坂出市建設経済部 都市整備課 公共交通係主事 亀井 大聡 さん

同時に、利用促進も重視して、坂出市の公共交通の情報が一目で分かる「坂出市公共交通マップ」の作成等、誰もが利用しやすい・分かりやすい公共交通を目指しています。 今後は、より快適な都市環境実現のために、市民のみなさんと一緒になって公共交通を守り・育てていくことが大切であると考えています。

快適な都市環境を  
実感できるまちづくり





● 駅近「さかいで楽市楽座」



● さぬきうまいもん祭り



元気とにぎわいのある  
まちづくり

発展につながるあらゆる可能性を見出そう



● 金時いも



● 小原紅早生

本市の地理的優位性や地域資源を生かし、まちづくりと一体となった総合的な施策の推進により、地域経済の発展、産業の活性化を図るとともに、観光を軸にした交流人口の拡大を図り、「元気とにぎわいのあるまちづくり」をめざします。



● 白峰パークセンター

**商工業・サービス業の振興**  
人々が集い、交流できる魅力とにぎわいのある中心市街地の再生整備や、地元中小企業の

**農林水産業の振興**  
生産基盤の整備による生産性の向上や高品質・高付加価値化を図るなど、地域の特産品の育成と振興に努めるとともに、効果的な情報発信をはじめとしたブランド力の向上に向けた取組を推進します。



● さかいでっこガイド隊

**観光の振興**  
本市の自然、歴史、文化、瀬戸内の島々などの素晴らしい地域資源を活用し、市民共働によるまちづくり型観光を推進するとともに、本市を訪れる方が安心して快適に移動、滞在、観光ができる環境整備を推進します。

健全な発展と経営基盤の安定、経営の効率化を促進するとともに、港湾機能の強化や都市機能の充実を図り、産業立地環境の充実に努めます。



● 金時にんじん

● 坂出市議会



### 市民の誰もが幸せを感じる坂出市に



● 観光案内所

JR坂出駅構内には、観光客に親切に対応する観光案内所を設置して利便性を高めるとともに、市役所本庁舎で

「元氣」「幸せ」「にぎわい」を市民のだれもが体いっばい感じられる坂出市。これを現実のものにするために、市民の代表である市長と市議会議員がお互いに独立した立場から協力し合い、健全な市政運営に努めています。

JR坂出駅構内には、



● 大橋記念図書館



● ランチコンサート

はランチコンサートをを行うなど、来庁した市民の方が和めるような雰囲気づくりに努めています。

「坂出に生まれてよかった」「坂出に住んでいてよかった」



● 中央公民館



おへんろさんの休憩所やボランティアガイドの拠点として活用されるとともに「さかいでブランド」の販売も行っています。



今を、これからを見据えて  
市民の幸せのために

●坂出市民芸術祭 (10・11月)

健全な地域文化の創造と芸術文化のいっそうの振興を図ることを目的として、毎年開催されています。芸術に対する理解と鑑賞の場として、市民の多彩な文化活動を紹介しております。



水の大切さ、有効利用について広く啓発するとともに、坂出市および、府中町の活性化と、魅力あふれるまちづくりをめざしたイベントです。

●水のフェスティバル in 府中湖 (10月)



●生涯学習フェスタ (11月)

何かをしてみたいという小さな思いから始めたことが、仲間が増え、学ぶ喜びに!「生涯学習」の発表の場として、子どもたちとふれあい、共に遊び、共に学ぶフェスティバルです。

●香風園 観月会 (9月)

池泉廻遊式庭園である香風園の趣きある雰囲気の中で、名月を観ながら邦楽やジャズ、吹奏楽などさまざまなジャンルの演奏を楽しむことができます。

あき

秋の歳時記



●さかいで鹽まつり (5月)

全国でも有数の塩田のまちとして栄えてきた坂出市。平成4年より、坂出の産業発展の象徴である塩をテーマに展開してきた、地域に根ざしたまつりです。



●美術館展覧会 (通年)

坂出市民美術館では、毎年数回の企画展を行っています。また、それ以外にも共催展・貸館展として展覧会を行っています。



●瀬戸大橋展望茶会 (4月)

瀬戸大橋の眺望が素晴らしい瀬戸大橋記念公園内「刻月亭」を会場に行われます。うらかな春のひととき、公園からの瀬戸内海の景観を堪能しながらお抹茶を召し上がられます。

はる

春の歳時記

情熱を体感!

坂出市では、いにしへの息吹きを今に伝える伝統祭や、市民共演の和やかな催しがいっぱい。愛情と情熱と魅力が伝わってきます。



●光輝里フェスティバル (12月)

JR坂出駅前広場、市民広場をイルミネーションの光で包み、坂出の夜の街を幻想的に演出する、光と音のページェントです。

●坂出天狗マラソン大会 (2月)

林田運動公園を主会場に行われます。招待選手の参加や天狗うどんのお接待もあり、にぎわいのある大会です。



●花き展示品評会 (2月)

花いっぱい会場には、たくさんのお花、切り花が展示されます。鉢物の即売、農業経営者による生産物の販売、ふるさと料理即売会なども楽しめます。



ふゆ

冬の歳時記

●坂出天狗まつり (2月)

坂出は、日本の八大天狗の「天狗」である白峰山の相模坊(通称「さかん坊」)が有名で、その天狗伝承にちなんだ各種行事を展開しています。天狗もち投げ、天狗劇上演、鴨川福神太鼓の演奏など、さまざまなイベントが行われます。



さかいで歳時記カレンダー

なつ

夏の歳時記

●さかいで大橋まつり (8月)

坂出市最大規模の市民総参加のまつりです。総おどりは、総勢約3,500名の踊り手が参加します。太鼓台競演では、1台約2トンの太鼓台が競演し、勇壮なかきあげで観客を魅了します。坂出港中央埠頭沖合では、海上花火大会を開催します。



●太鼓台競演 (8月)

坂出には江戸時代後期に太鼓台が伝えられ、各地で独自の祭礼文化として伝承されました。さかいで大橋まつりに太鼓台が出場したのをきっかけに、市内の各地区で太鼓台の再建、新調チームがわきおこり、坂出独自の太鼓台が生まれています。



●かわつ花菖蒲園一般開放 (6月)

およそ330㎡、80種類の花菖蒲1万3千株が植えられていて、花の季節の6月にはあでやかな美しさで訪れる人々を楽しませます。



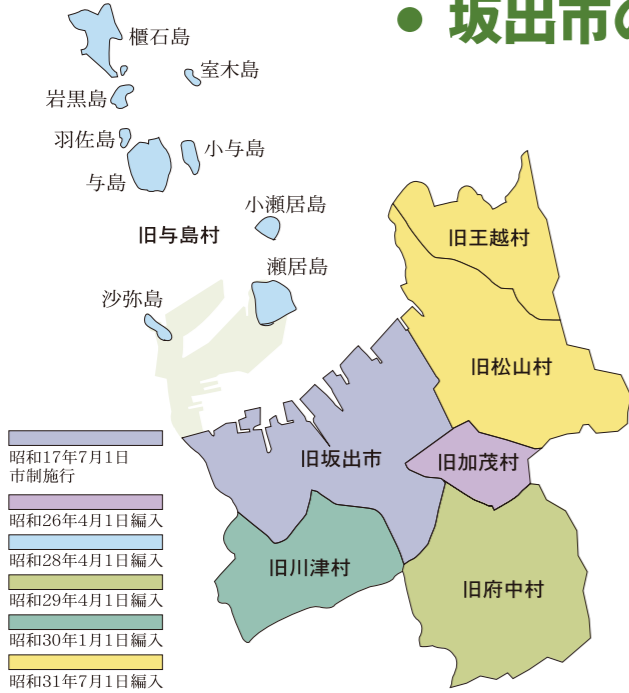
# 市民憲章

わたくたちは、伸びゆく坂出の市民であることに誇りと責任をもち、この憲章を定めます。  
(昭和47年10月7日制定)

わたくたち 坂出市民は

- 一、自然を愛し環境を整え 住みよいまちをつくりましょう
- 一、からだを鍛え 教養を高め 文化の香り高いまちをつくりましょう
- 一、勤労をとうとび 励まし合い 明るいまちをつくりましょう
- 一、きまりを守り 互いに譲り合い 心豊かなまちをつくりましょう
- 一、みんなで努力し いたわり合って 郷土の繁栄をはかりましょう

## 坂出市の変遷



- 明治23年2月15日  
坂出村が坂出町になる。福江村、江尻村が金山村に、鴨村と氏部村が加茂村、高屋村と青海村と神谷村が松山村、乃生村と木沢村が王越村となる。
- 昭和11年6月1日  
坂出町に金山村が合併。
- 昭和17年7月1日  
坂出町と林田村が合併し、坂出市となる。市制施行。
- 昭和26年4月1日  
加茂村が合併。
- 昭和28年4月1日  
与島村が合併。
- 昭和29年4月1日  
府中村が合併。
- 昭和30年1月1日  
川津村が合併。
- 昭和31年7月1日  
松山村、王越村が合併。

## 坂出市の統計データ

<b>人口</b> 52,490人 (男25,097人, 女27,393人) (平成29年1月1日現在)	<b>世帯数</b> 21,334世帯 (平成29年1月1日現在)	<b>国勢調査人口</b> 53,164人 (平成27年10月1日現在)	<b>国勢調査世帯数</b> 21,361世帯 (平成27年10月1日現在)	<b>面積</b> 92.49 km <sup>2</sup> (平成27年10月1日現在)
<b>事業所</b> 事業所数 3,154 (従業員数 31,197人) (平成26年7月1日現在)	<b>農業</b> 農家戸数 983 (従事者数 2,351人) (平成27年2月1日現在)	<b>漁業</b> 漁業経営体数 189 (従業者数 214人) (平成25年11月1日現在)	<b>工業</b> 事業所数 164 (従業者数 6,486人) (平成26年12月31日現在)	<b>商業</b> 事業所数 582 (従業者数 3,621人) (平成26年7月1日現在)
<b>医療</b> 医療機関数 84 (うち一般診療所 48) (うち歯科診療所 30) (平成26年10月1日現在)	<b>水道給水人口</b> 54,495人 (普及率 99.8%) (平成28年3月31日現在)	<b>教育</b> 教育機関数 38 (幼・小・中・高・専・各種) (平成27年5月1日現在)	<b>保育所</b> 保育所数 13 (児童数 1,176人) (平成27年4月1日現在)	<b>財政</b> 47,022,298 千円 (うち一般会計 23,188,000千円) (平成27年度当初予算)

## 市章



昭和17年7月、市制施行と同時に制定しました。坂出の「出」を图案化し、カモメが2羽勇しく飛び立つ姿を描いたもので、港を生命とする市の飛躍発展をシンボライズしています。

## 市の木 (S47.10.7)



珊瑚樹(さんごじゅ)  
市制30周年を記念して市の木「珊瑚樹(さんごじゅ)」を決定しました。珊瑚樹はスイカズラ科の常緑高木で、暖かい地方に多く、高さは約5mになります。

## 市の花 桜 コスモス (S62.11.10)



市制45周年を記念して、市民からの公募により「桜」と「コスモス」に決まりました。市民の皆さんが1年を通じて『市の花』に親しむことができるように、春の「桜」、秋の「コスモス」を選んだものです。

## 名誉市民

本市の名誉市民条例は、昭和38年3月香川県下ではじめて制定され、5名のかたに名誉市民の称号を贈っています。



故 島田 恭平氏  
(しまだ きょうへい)

島田氏は、明治14年11月、坂出村に生まれ、大正3年5月、33歳の若さで坂出町長に就任されました。以来、昭和36年7月任期満了で退職されるまで40年の長きにわたり、町政・市政の発展に貢献され、坂出の基礎を築かれました。昭和30年11月、自治功労者として藍綬褒章を受章されました。

元市長  
昭和38年3月 名誉市民称号を贈呈  
昭和37年10月 逝去



故 津島 寿一氏  
(つしま じゅいち)

津島氏は、明治21年1月、坂出村に生まれました。大正から昭和初期にかけて、英・仏・米の駐在財務官として活躍し、帰朝後は、大蔵省理財局長をふり出しに、大蔵大臣、国務大臣を歴任。また、参議院議員として国政に貢献されました。昭和42年2月、正三位勲一等旭日大綬章を授与されました。

元参議院議員・大蔵大臣  
昭和42年1月 名誉市民称号を贈呈  
昭和42年2月 逝去



故 花岡 タネ氏  
(はなおか たね)

花岡氏は、明治11年1月、三豊郡山本町に生まれました。明治40年5月、私立和洋裁縫女学校(同42年坂出実修女学校と名称を変更、現坂出第一高等学校)を創立。県内の私学の祖として今も多くの尊敬を集めています。昭和33年5月、藍綬褒章を、さらに昭和39年11月には勲四等瑞宝章を授与されました。

私立和洋裁縫女学校創立者  
昭和42年7月 名誉市民称号を贈呈  
昭和42年8月 逝去



故 番正 辰雄氏  
(ばんじょう たつお)

番正氏は、大正5年9月、中央町に生まれました。昭和23年坂出市に奉職、建設課長、助役などを務めたあと、昭和48年7月、第10代の市長に就任しました。連続4期16年間にわたり市長を務め、瀬戸大橋には着工から開通まで関わり、受け皿づくりに貢献されました。平成元年4月に従五位勲四等旭日大綬章を授与されました。

元市長  
平成元年4月 名誉市民称号を贈呈  
平成元年4月 逝去



松浦 稔明氏  
(まつうら としあき)

昭和13年12月8日生まれ。松浦氏は、平成元年6月、第14代の市長に就任しました。それ以来連続5期20年の長きにわたり、市長として今日の坂出市発展に大いに貢献されました。特に、他市に先駆けた定員適正化計画など、独自の行財政改革を推進したほか、平成8年度から取り組んだ坂出駅周辺整備主要プロジェクトにより、四国の玄関都市の顔を創りあげました。また、市長在任中には、全国市長会理事や香川県市長会会長などを歴任されました。

元市長  
平成24年7月 名誉市民称号を贈呈

# 坂出市のあゆみ

坂出市の歴史

社会の主な出来事

1940

昭和17年・坂出町と林田村が合併し、市制を施行  
(面積22.82km<sup>2</sup>、人口30,988人、6,515世帯)

昭和19年・坂出駅から中央埠頭に至る臨港道路開通

昭和21年・「坂出市報」第1号を発刊

昭和22年・市立病院開設、診療を開始

昭和23年・坂出港が開港場に指定される

昭和25年・市立公民館開館

昭和26年・加茂村を編入合併

市立図書館開館

坂出港が重要港湾に指定される

昭和27年・聖通寺山の公園を、常盤公園と命名

昭和28年・与島村を編入合併

第8回国民体育大会開催  
(ソフトボール)

昭和29年・府中村を編入合併

第1回市民体育祭を市営球場で開催

昭和30年・川津村を編入合併

昭和31年・市営葬祭事業を開始

松山村・王越村を編入合併

昭和32年・市役所庁舎落成

昭和35年・坂出駅改築落成

昭和37年・本町商店街アーケード落成

昭和38年・中央埠頭の1万トン岸壁完成

昭和39年・番の州埋立の第1期工事開始

日・独伊軍事協定調印(S17)

安保条約調印(S26)

ユネスコ加盟(S26)

日本航空発足(S26)

羽田空港開港(S27)

電電公社設立(S27)

自民党結成(S30)

日本の国連加盟承認(S31)

メルボルン五輪(S31)


聖徳太子肖像の五千円札発行(S32)

ローマ五輪(S35)

ベトナム戦争(75)(S35)

東京都世界初一千万人都市(S37)

東京五輪(S39)



市街地風景(昭和20年代)

1950

昭和17年・坂出町と林田村が合併し、市制を施行  
(面積22.82km<sup>2</sup>、人口30,988人、6,515世帯)

昭和19年・坂出駅から中央埠頭に至る臨港道路開通

昭和21年・「坂出市報」第1号を発刊

昭和22年・市立病院開設、診療を開始

昭和23年・坂出港が開港場に指定される

昭和25年・市立公民館開館

昭和26年・加茂村を編入合併

市立図書館開館

坂出港が重要港湾に指定される

昭和27年・聖通寺山の公園を、常盤公園と命名

昭和28年・与島村を編入合併

第8回国民体育大会開催  
(ソフトボール)

昭和29年・府中村を編入合併

第1回市民体育祭を市営球場で開催

昭和30年・川津村を編入合併

昭和31年・市営葬祭事業を開始

松山村・王越村を編入合併

昭和32年・市役所庁舎落成

昭和35年・坂出駅改築落成

昭和37年・本町商店街アーケード落成

昭和38年・中央埠頭の1万トン岸壁完成

昭和39年・番の州埋立の第1期工事開始

日・独伊軍事協定調印(S17)

安保条約調印(S26)

ユネスコ加盟(S26)

日本航空発足(S26)

羽田空港開港(S27)

電電公社設立(S27)

自民党結成(S30)

日本の国連加盟承認(S31)

メルボルン五輪(S31)

聖徳太子肖像の五千円札発行(S32)

ローマ五輪(S35)

ベトナム戦争(75)(S35)

東京都世界初一千万人都市(S37)

東京五輪(S39)



第8回国民体育大会  
坂出市営球場(昭和28年)

1960

昭和39年・府中ダム建設工事に着手

昭和40年・市消防本部が救急活動を開始

昭和41年・番の州埋立地が御供所海岸と接続

昭和42年・府中ダムの貯水開始

番の州埋立にに伴い沙弥島が陸続きとなる

昭和43年・人工土地第1期工事が完成、入居開始

番の州埋立にに伴い瀬居島が陸続きとなる

昭和39年・府中ダム建設工事に着手

昭和40年・市消防本部が救急活動を開始

昭和41年・番の州埋立地が御供所海岸と接続

昭和42年・府中ダムの貯水開始

番の州埋立にに伴い沙弥島が陸続きとなる

昭和43年・人工土地第1期工事が完成、入居開始

番の州埋立にに伴い瀬居島が陸続きとなる

東名高速道路全通(S44)

アポロ11号月面着陸(S44)

大阪万博(S45)

沖縄返還協定調印(S46)

札幌冬季五輪(S47)

札幌冬季五輪(S47)

ミュンヘン五輪(S47)

石油ショック(S48)

佐藤栄作ノーベル平和賞受賞(S49)

沖縄海洋博(S50)

モントリオール五輪(S51)

ロッキード事件(S51)

天安門事件(S51)

静止衛星「きく2号」成功(S52)

日中平和友好条約調印(S53)

成田新国際空港開港(S53)

第2次石油ショック(S54)

モスクワ五輪日本不参加(S55)

新宿バス放火事件(S55)

スペースシャトル「コロンビア」初飛行(S56)

ローマ法王初来日(S56)



番の州埋立地(昭和39年)

坂出市の歴史

社会の主な出来事

1960

昭和39年・府中ダム建設工事に着手

昭和40年・市消防本部が救急活動を開始

昭和41年・番の州埋立地が御供所海岸と接続

昭和42年・府中ダムの貯水開始

番の州埋立にに伴い沙弥島が陸続きとなる

昭和43年・人工土地第1期工事が完成、入居開始

番の州埋立にに伴い瀬居島が陸続きとなる

東名高速道路全通(S44)

アポロ11号月面着陸(S44)

大阪万博(S45)

沖縄返還協定調印(S46)

札幌冬季五輪(S47)

札幌冬季五輪(S47)

ミュンヘン五輪(S47)

石油ショック(S48)

佐藤栄作ノーベル平和賞受賞(S49)

沖縄海洋博(S50)

モントリオール五輪(S51)

ロッキード事件(S51)

天安門事件(S51)

静止衛星「きく2号」成功(S52)

日中平和友好条約調印(S53)

成田新国際空港開港(S53)

第2次石油ショック(S54)

モスクワ五輪日本不参加(S55)

新宿バス放火事件(S55)

スペースシャトル「コロンビア」初飛行(S56)

ローマ法王初来日(S56)

1970

昭和46年・中突堤に坂出港湾合同庁舎が完成

昭和47年・第4回塩業整理に伴い、370年の伝統をもつ採かん式塩田が姿を消す

「市民憲章」「市の木／珊瑚樹」を制定

昭和49年・市民ホール開館

昭和50年・番の州プールオープン

昭和51年・東大浜・西大浜土地地区画整理事業の土地造成工事開始

昭和52年・番の州公園・球場完成

昭和53年・瀬戸大橋着工、起工式を番の州で挙

昭和54年・大橋記念図書館開館

昭和55年・与島地区簡易水道完成

昭和56年・高松・坂出有料道路開通

消防本部(署)移転開所

昭和57年・林田埠頭完成

昭和58年・市立体育館開館

昭和59年・両景橋完成、開通式挙

東名高速道路全通(S44)

アポロ11号月面着陸(S44)

大阪万博(S45)

沖縄返還協定調印(S46)

札幌冬季五輪(S47)

札幌冬季五輪(S47)

ミュンヘン五輪(S47)

石油ショック(S48)

佐藤栄作ノーベル平和賞受賞(S49)

沖縄海洋博(S50)

モントリオール五輪(S51)

ロッキード事件(S51)

天安門事件(S51)

静止衛星「きく2号」成功(S52)

日中平和友好条約調印(S53)

成田新国際空港開港(S53)

第2次石油ショック(S54)

モスクワ五輪日本不参加(S55)

新宿バス放火事件(S55)

スペースシャトル「コロンビア」初飛行(S56)

ローマ法王初来日(S56)

1980

昭和55年・駅北口地下駐車場オープン

香風園開園

坂出駅周辺整備主要事業完成記念行事を開催

平成15年・第16回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレク香川2003)開催(年齢別バドミントン・ターゲットバードゴルフ)

平成16年・都市計画の線引き廃止

台風16号最高潮位43.4cmの観測史上最高値を記録

平成17年・県立東山魁夷せとうち美術館開館

駅南口広場が供用開始

平成20年・瀬戸大橋開通20周年記念事業橋上イベント開催

平成21年・府中湖スマートインターチェンジ本格運用開始

平成22年・西部・中央・沙弥の3小学校を統合し、坂出小学校とする

坂出港が「新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾」に選定される

平成23年・王越・松山の2小学校を統合し、松山小学校とする

デマンド型乗合タクシーを運行開始

平成24年・坂出小学校新校舎完成

坂出市循環バスを運行開始

平成25年・瀬戸内国際芸術祭2013(春会期)に沙弥島が初参加

平成26年・市立病院移転・新築、診療を開始

平成27年・第50回記念さかいで大橋まつり開催

新潟県中越地震(H16)

スマトラ沖地震(H16)

携帯「電子マネー」開始(H16)

JR宝塚脱線事故(H17)

つくばエクスプレス開業(H17)

燃油サーチャージ導入(H17)

新潟県中越地震(H16)


スマトラ沖地震(H16)

携帯「電子マネー」開始(H16)

JR宝塚脱線事故(H17)

つくばエクスプレス開業(H17)

燃油サーチャージ導入(H17)



坂出周辺整備主要事業完成(平成13年)

1980

昭和59年・国道11号坂出・丸亀バイパス全線開通

昭和60年・林田運動公園完成

市民美術館開館

昭和61年・人工土地完成

水道局新庁舎落成

昭和62年・「市の花」桜、コスモスを制定

昭和63年・サウサリート市と姉妹都市縁組調印

瀬戸大橋博'88四国が開幕

瀬戸大橋開通

平成2年・鉄道高架事業に着手

平成3年・坂出環境センター落成

瀬戸大橋記念公園完成

坂出合同庁舎落成

平成4年・四国横断自動車道(善通寺〜高松間)開通

市制施行50周年を迎える

平成5年・第48回国民体育大会が当市で開催(カヌーレーシング・ソフトボール・バドミントン)

平成6年・第7回全国健康福祉祭(ねりんピック'94香川)が開催

平成7年・第1回坂出天狗マラソン開催

平成8年・ランシング市と友好都市協定締結

坂出駅周辺整備主要プロジェクトに着手

平成9年・鉄道高架切替、新駅舎完成

第12回国民文化祭・かがわ'97開催(版画展・華道展・万葉まつり)

平成10年・全国高校総体開催(漕艇(ボート)競技)

平成11年・坂出市リサイクルプラザ落成

大江健三郎ノーベル文学賞受賞(H6)

関西国際空港開港(H6)

松本サリン事件(H6)

阪神淡路大震災(H7)

地下鉄サリン事件(H7)

アトランタ五輪(H8)


消費税5%制定(H9)

東京湾アクアライン開通(H9)

明石海峡大橋開通(H10)

サッカーW杯仏大会初出場(H10)

欧州通貨統合でユーロ誕生(H11)



瀬戸大橋架橋工事(昭和61年)

2000

平成13年・駅北口地下駐車場オープン

香風園開園

坂出駅周辺整備主要事業完成記念行事を開催

平成15年・第16回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレク香川2003)開催(年齢別バドミントン・ターゲットバードゴルフ)

平成16年・都市計画の線引き廃止

台風16号最高潮位43.4cmの観測史上最高値を記録

平成17年・県立東山魁夷せとうち美術館開館

駅南口広場が供用開始

平成20年・瀬戸大橋開通20周年記念事業橋上イベント開催

平成21年・府中湖スマートインターチェンジ本格運用開始

平成22年・西部・中央・沙弥の3小学校を統合し、坂出小学校とする

坂出港が「新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾」に選定される

平成23年・王越・松山の2小学校を統合し、松山小学校とする

デマンド型乗合タクシーを運行開始

平成24年・坂出小学校新校舎完成

坂出市循環バスを運行開始

平成25年・瀬戸内国際芸術祭2013(春会期)に沙弥島が初参加

平成26年・市立病院移転・新築、診療を開始

平成27年・第50回記念さかいで大橋まつり開催

新潟県中越地震(H16)


スマトラ沖地震(H16)

携帯「電子マネー」開始(H16)

JR宝塚脱線事故(H17)

つくばエクスプレス開業(H17)

燃油サーチャージ導入(H17)



瀬戸大橋開通20周年記念橋上マラソン(平成20年)

1990

平成2年・鉄道高架事業に着手

平成3年・坂出環境センター落成

瀬戸大橋記念公園完成

坂出合同庁舎落成

平成4年・四国横断自動車道(善通寺〜高松間)開通

市制施行50周年を迎える

平成5年・第48回国民体育大会が当市で開催(カヌーレーシング・ソフトボール・バドミントン)

平成6年・第7回全国健康福祉祭(ねりんピック'94香川)が開催

平成7年・第1回坂出天狗マラソン開催

平成8年・ランシング市と友好都市協定締結

坂出駅周辺整備主要プロジェクトに着手

平成9年・鉄道高架切替、新駅舎完成

第12回国民文化祭・かがわ'97開催(版画展・華道展・万葉まつり)

平成10年・全国高校総体開催(漕艇(ボート)競技)

平成11年・坂出市リサイクルプラザ落成

大江健三郎ノーベル文学賞受賞(H6)

関西国際空港開港(H6)

松本サリン事件(H6)

阪神淡路大震災(H7)

地下鉄サリン事件(H7)

アトランタ五輪(H8)

消費税5%制定(H9)

東京湾アクアライン開通(H9)

明石海峡大橋開通(H10)

サッカーW杯仏大会初出場(H10)

欧州通貨統合でユーロ誕生(H11)



第48回国民体育大会(平成5年)

2010

平成22年・西部・中央・沙弥の3小学校を統合し、坂出小学校とする

坂出港が「新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾」に選定される

平成23年・王越・松山の2小学校を統合し、松山小学校とする

デマンド型乗合タクシーを運行開始

平成24年・坂出小学校新校舎完成

坂出市循環バスを運行開始

平成25年・瀬戸内国際芸術祭2013(春会期)に沙弥島が初参加

平成26年・市立病院移転・新築、診療を開始

平成27年・第50回記念さかいで大橋まつり開催

裁判員制度開始(H21)

高速道路路上日祝日千円開始(H21)

サッカーW杯南アフリカ大会で日本代表ベスト16(H22)

小笠原諸島世界自然遺産に登録(H23)

スカイツリー開業(H24)

2020年東京五輪決定(H25)

消費税5%から8%に(H26)

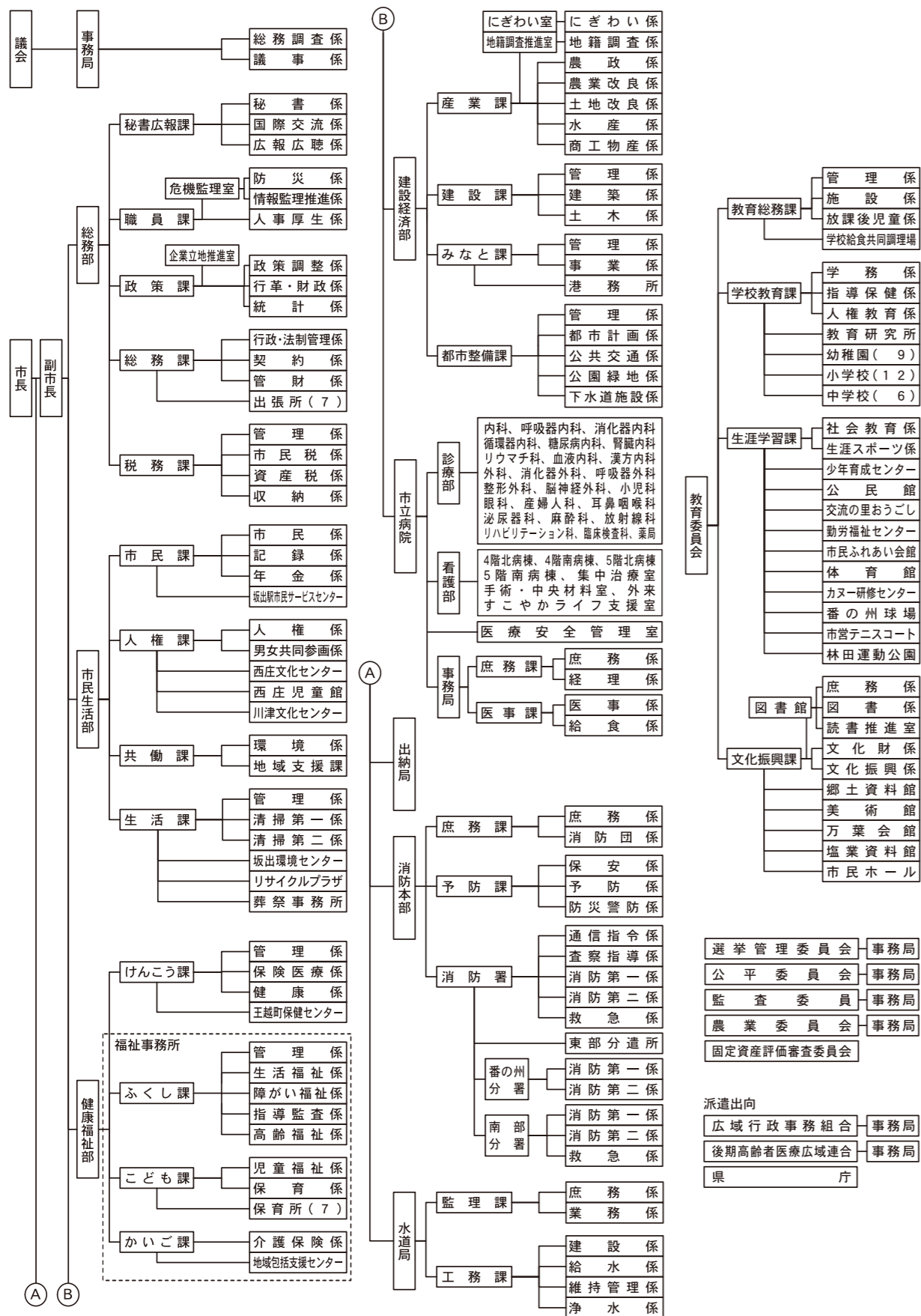
マイナンバー制度がスタート(H27)



瀬戸大橋開通20周年記念橋上マラソン(平成20年)

# 坂出市の行政機構

(平成29年4月1日現在)



坂出市

# イラストマップ

City Guide Map

